

ユニセフ募金へのご協力をお願いします

命と健康を支える最低限の量の水さえ手に入れない子どもたちが、世界には4億人(5人に1人)もいます。その状況をさらに悪化させている要因のひとつが、近年急速に拡大する気候変動の影響です。干ばつや洪水など気候にかかわる災害は、この30年間で3倍に激増。世界各地で川や湖が干上がり、あるいは汚水があふれ返り、貴重な水源が失われています。



©UNICEF/UN0716275/Ayene

「水の危機」は途上国の子どもものの生死に直結する問題です

下痢と嘔吐が止まらず
脱水症に陥った2歳のザカリア

「これほどひどい干ばつに見舞われたのは、生まれて初めてです」
診療所で脱水症の子どもを看病している母親が語ります。
ソマリアでは今、過去40年間で最悪の干ばつが進行。井戸は枯れ、干上がった川底を掘って茶色い水を飲まざるを得ない家族も少なくありません。子どもの死因である下痢性疾患が、多くの命を脅かしています。

給水インフラが脆弱なアフリカ、南アジア、中東などの途上国の子どもたち



©UNICEF/UN0701707/Zaidi

洪水
国土の3分の1が水没したパキスタンの洪水



©UNICEF/UN0742118/Condren

干ばつ
アフリカの各地を襲う記録的な干ばつ

パルコープでは「平和な世界と子どもたちのしあわせ」を願ってユニセフ活動をすすめています

募金の方法 共同購入の注文書

共同購入(班配・個配)では、
11月2回(10/23~10/27)~12月1回(11/20~11/24)
注文書の募金カンパ欄より募金を受け付けています。



募金カンパ1417に
口数をご記入ください。

「1」と記入すると、
1口100円の募金となります。
(100円単位)

他の方法でも
募金できます

1 店舗・組合員会館では、
10月23日(月)~
11月24日(金)まで
募金箱を設置します。

2 郵便振替 (口座番号) 00900-2-14876
(加入者名) 生活協同組合おおさかパルコープ

※通信欄に「ユニセフ募金」と明記してください。手数料は各自ご負担ください。
なお、お預かりした募金は税額控除対象とはなりません。予めご了承ください。

安全な水を届け、 明日の危機に備える 水支援が、 今こそ必要です

どの被災地でも真っ先に
必要となる安全な水を迅速に届け、
災害に強いインフラづくりに取り組む

ユニセフは、世界中で年間100件以上の自然災害に対応し安全な水を届けています。同時に、年々増加の一途をたどる干ばつや洪水の被害に備え、新技術を使った深井戸など災害に強い水・衛生インフラを構築し、すべての子どもの命が守られる環境づくりに取り組んでいます。

©UNICEF/UN0610689/Al-Basha

あなたのご支援でできること

みなさんの少しずつのご支援で、
子どもたちの命が救えます。

3,000円のご支援が集まれば...

下痢性疾患から子どもの命を守る、
経口補水塩361袋に変わります。



©UNICEF/UNI106824/Dormino

5,000円のご支援が集まれば...

5人家族が1カ月間に必要とする、
浄水剤29家族分に変わります。



©UNICEF/UN0705492/

10,000円のご支援が集まれば...

子どもの体を清潔に保ち病気を防ぐ、
石けん224個に変わります。



©UNICEF/UN0752098/Hayyan



©UNICEF/UN070646/Gulati

インド
から

汚れた水で命を落とさないように！

インド中部の村で、1歳の女の子ニハリカが下痢の症状を和らげる経口補水塩を飲んでいました。インドでは、昨年だけでも600万人もの子どもが洪水に見舞われるなど、気候変動の影響が深刻であり、汚水の蔓延を原因とする下痢性の病気で毎年多くの幼い命が失われています。下痢の子どもの治療をはじめ、国内10州で4,000カ所を超える医療施設への水・衛生支援も行なっています。

2022年度 ユニセフ募金のご協力ありがとうございました

パルコープでは組合員さんから267万6,570円寄せられました。91年からユニセフ募金に取り組み、累計9,189万6,148円の募金を日本ユニセフ協会へお送りしました。

ご協力ありがとうございました。



2023年4月6日に、大阪ユニセフ協会(日本ユニセフ協会協定地域組織)へ2022年度のユニセフ募金をお渡ししました。